

情報公開文書

研究の名称	多義図形解釈に与える思考スタイルや実験条件の検討
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	富山大学 学術研究部医学系 公衆衛生学講座 教授・稲寺秀邦
研究の概要	<p>【研究対象者】 18 歳以上</p> <p>【研究の目的・意義】 ユーモアの産出や理解にかかわる経験が創造性と関連することが知られている (O' Quin, & Derks, 1997)。本研究では、ユーモア経験と創造性の関連をもたらす基盤的役割として認知的柔軟性があると仮定した。これまでの研究では、認知的柔軟性を主観的評定を通して測定することは明らかにされている (Martin & Rubin, 1995)。しかしながら、主観的評定による測定では、社会的望ましさの要因を完全に排除することは難しく、実験的データを用いた補完的な研究が必要である。そこで本研究では、本実験では、思考スタイルについての理解を深めるための実験条件を精査することを目的とする。</p> <p>O' Quin, K., & Derks, P. (1997). Humor and creativity: A review of the empirical literature. <i>Creativity research handbook</i>, 1, 223-252.</p> <p>Martin, M. M., & Rubin, R. B. (1995). A New Measure of Cognitive Flexibility. <i>Psychological Reports</i>, 76(2), 623-626.</p> <p>【研究の方法】 ・収集の方法 創造性の柔軟性と持続性の信念の測定のために作成したオンライン実験を行う。オンラインアンケート上の研究概要説明後、協力に同意を得られたものに質問項目への回答を求める。オンラインアンケートは、個人を特定する情報は収集しない。</p> <p>・収集する場所 説明：オンライン実験参加にアクセス可能な場所で各自に都合がよいところ</p> <p>【研究期間】 実施許可日～2025年3月30日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 研究成果は国内外の心理学関連の学会発表、学術論文で発表されますが、その際も個人を特定できる個人情報を利用しない。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	自認する年齢と性別、多義図形解釈のスコア（大阪樟蔭女子大学との共同データとして収集する）
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	国立大学法人富山大学 責任者：齋藤 滋・学長
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。

試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	機関：富山大学 学術研究部医学系 公衆衛生学講座 責任者：稲寺 秀邦・教授
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 ① TEL:076-434-7276 FAX:076-434-5023 E-MAIL mari.okap.inouye@gmail.com 富山大学 学術研究部医学系 公衆衛生学講座 井上 真理子・協力研究員 ② TEL:06-6723-8181 FAX:06-6723-8302 E-MAIL tsuji.hiromi@osaka-shoin.ac.jp 大阪樟蔭女子大学 学芸学部 心理学科 辻 弘美・教授